

高野山社会福祉だより

第34号

# ふれあい



## 目次

● 福祉活動団体および福祉事業への支援 ..... 2	● 御宝号念誦運動リーフレット頒布開始のご案内 ..... 9
池田こども花まつり	● 人権研修会 ウトロ平和祈念館 ..... 10
● ウィッシュ・バケーション ..... 4	● ふれあい人権フェスタ ..... 11
● こころの便り事業 ..... 5	● 御宝号念誦運動のお願い ..... 12
● 令和6年度 高野山心の学び講座 ..... 6	● 御宝号念誦運動寄金推移表 ..... 12
● 職員研修 手話講座 ..... 7	● 福祉基金事業表 ..... 12
● 令和6年度 密教福祉研修会 ..... 8	

福祉活動団体および福祉事業への支援

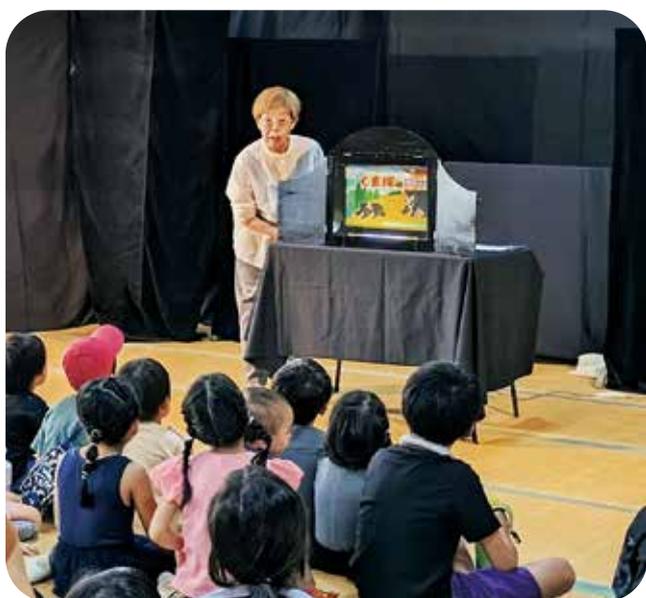
池田こども花まつり

池田こども花まつり実行委員長

大廣寺 住職 金子 丈雄

池田こども花まつり実行委員会は大阪府池田市の五月山の麓にある九ヶ寺・大廣寺（曹洞宗）陽春寺（曹洞宗）本養寺（日蓮宗）高法寺（真言宗）法園寺（浄土宗）託明寺（浄土真宗本願寺派）壽命寺（浄土宗）西光寺（浄土宗）弘誓寺（浄土真宗本願寺派）で組織され、巡回講という名で三百年來宗派を超えて交流を続けています。

二〇一四年にこどもたちの健やかな成長の為に何かできることはないかということから地域の人形劇団さんと一緒に「お寺で人形劇」ということをテーマに取り組んでまいりました。当初は年一回の開催でしたが今年度から三月、四月、五月、六月、九月、十月、



十一月、十二月と年間を通じて開催する『お寺の人形劇』池田くお寺でいっぱい遊んじゃおう』というタイトルで開催をすることになりました。

☆こどもたちの健全な成長を助ける  
☆こどもの想像力・創造力を高め、生きる力を育む

☆こどもが家族と生の舞台を観る体験を共有することにより、共通の体験遺産を生む

☆池田の歴史を受け継ぐ文化遺産に触れることにより、こどもの郷土に対する関心を深める

☆次世代を築いていくこどもたちを、地域で守り育てていく

これらの目的のもとに池田市・池田市教育委員会・観光協会・佛教会などの後援を受け地域挙げての行事として取り組んでいます。

各寺院では人形劇や紙芝居、読み聞かせや工作などのワークショップを行い池田市内の未就園児から小学生低学年を対象としながらも、こどもから大人まで幅広い年齢層の方が多数来場されています。

各会場の定員は五十から百名程度ですが多いときは定員をオーバーしてしまいうこともあり大盛況です。

昨今のこどもたちはスマホやタブ



レットの普及により小さな画面の中の映像体験が多くなりリアルな体験が少なくなっています。この「お寺で」開催という事で普段、保護者の方でも入る機会の少ないお堂に入っていた。き、お香や畳の香りや、伝統的な建造物を直に感じながら、生の人形劇や紙芝居、影絵などリアルな体験をしていただいています。

また、僧侶も積極的に参加して演劇の合間や境内において子どもたちにお寺についてお話をしたり、一緒に工作をしたり、時には一緒に記念撮影をしたりと、楽しい時間を過ごしています。

今年度で十一回を数えるこの人形劇もコロナ禍で中止や人数制限、観客の減少などがありました。参加人数も増加傾向にあり、昨今では市内だけにとどまらず他市、他府県からの参加者も目立ち始め、地域の伝統行事として少しずつ根付き始めています。

かつてお寺は地域のコミュニティであり、子どもたちにとっては遊び場であり、学びの場でありました。

今、この時代であるからこそ、その役割が必要であることは間違いありません。

この活動によってお寺のお堂や境内は子どもたちの笑顔や笑い声であふれています。

今後もっと多くの子どもたちが参加し健やかな成長の一助となるようさらに工夫を凝らして精進してまいりたいと思います。

## その他の活動助成団体

- 宗内における福祉講習会開催に対する助成  
高野山真言宗鳥取宗務支所主催・福祉講習会  
高野山真言宗第七地域伝道団主催・福祉講習会  
大阪寺族婦人会主催・福祉講習会
- 障がい者福祉団体への活動助成  
盲導犬育成事業  
社会福祉法人 日本ライトハウス盲導犬訓練所  
点字図書・録音図書の制作事業  
社会福祉法人 日本ライトハウス情報文化センター
- ひきこもり対策活動への助成  
NPO法人 KHJ全国ひきこもり家族会連合会
- 難病者援助団体への活動助成  
公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を
- 各種団体への活動助成  
公益財団法人 日本ユニセフ協会  
心の相談員ネットワーク  
高野山「めざめ」の森づくり実行委員会  
被災地 NGO 協働センター

# ウイツシユ・バケーション



## ◆高野山での二泊三日の旅

来への希望と活力を見出す手助けを目的として実施されており、今回は、その旅行先として、高野山に申入れがありました。二家族（計七名）をご招待し、高野山の特別な時間を過ごしていただきました。

の家族全員を無償旅行に招待し、家族と社会の絆を創り、将



金剛峯寺前にて二家族で記念撮影

公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」（大住力代表）主催によるウイツシユ・バケーションが九月十四日（土）から九月十六日（月・祝）の三日間にわたって開催されました。この活動は、社会とのつながりが希薄になりがちな難病を患う子どもとそ



壇上加藍 金堂

初日から二日目にかけて金剛峯寺や壇上加藍の根本大塔や金堂などをお参りし、荘厳な雰囲気の中で歴史と信仰を肌で感じていただきました。大師教会では授戒を受けた後に、腕輪念珠作りを楽しんでいただきました。自身で作る自分の好きな色で作られた念珠は、完成後にみんなで一緒に御宝号をお唱えることで、みんなの祈りが込められた世界に一つだけの特別なものとなり、大変喜ばれました。



腕輪念珠作りの風景（大師教会）

また霊宝館では、大森照龍霊宝館長に丁寧な解説をいただきながら館内をめぐり、高野山の歴史や貴重な宝物と密教の教えに触れていただきました。最終日には奥之院を参拝し、行法師案内のもと生身供を見学し、その後御廟を参拝いたしました。今も続くお大師さまへの信仰を感じていただき、旅を締めくくりました。



御家族を案内する大森照龍霊宝館長

この三日間を通じて、社会人権局職員をはじめ各所の役職員、また宿坊の僧侶などさまざまな方と出会い対話することで、大変有意義な時間を過ごされたのではないかと思います。そして、共に過ごさせていただいた私たちも、難病を患う子どもたちとその家族に勇気と元気をもらうことができた三日間となりました。



奥之院 御廟橋

## こころの便り事業

高野山真言宗がすすめる福祉活動の一つに「こころの便り事業」があります。この事業は昭和六十一年から継続して実施しており、本宗寺院の檀信徒を対象とした在宅要介護者及び独居高齢者の方々に対する支援です。

令和六年度は、フェイスタオル・御守り・卓上絵はがきカレンダー・園児の絵という四つの品を用意し、一五五ヶ寺を通じて四、〇六四名の方々に高野山からの贈り物としてお届けいただきました。



# 令和六年度 高野山心の学び講座

## ◆「平安」から「令和」へ～不安を抱く現代人へ～

新たに令和の時代を迎えてから六年。日本では自然災害の多発やコロナウイルスの感染拡大など、社会を不安に陥れる事象が相次ぎ、国内外を問わず不安定な世界情勢に多くの方々日々の生活に不安を感じながら過ごしています。一方で、お大師さまがお生まれになった平安時代は元号の「平安」とは程遠く、地震や疫病などの天災、合戦といった人災により不安な日々が続いていたようです。お大師さまは、そんな世の人々の悩み、苦しみに向き合い、そして安寧へと導かれました。本年度は、時空を超越しいまなお人々を救済し続けておられるお大師さまのみ教えから現代人に向けて、日々の心の不安とどう向き合うかを学べる講座をオンラインで開催いたしました。高野山大学でお大師さまのみ教えを説か



動画配信サイト「Youtube」にて配信された映像

く講義をお届けしました。この講座は七月から毎月一本ずつ配信され、五十名の受講者が視聴し、貴重な学びを得る場となりました。

れている先生方をお招きし、それぞれの専門分野から現代の課題に向き合い、受講者の心に響

今年度は、お大師さまのみ教えを通して、不安に満ちた現代においても、心の平安をどのように保つのか、そのヒントを見つけ出すことのできる講座をお届けしましたが、来年度も引き続き多くの方々心の学びを深める機会として提供してまいります。

7. 祈り: 大師の言葉から

「真言は不思議なり、観誦すれば無明を除く。一字に千理を含み、即身に法如を証す」

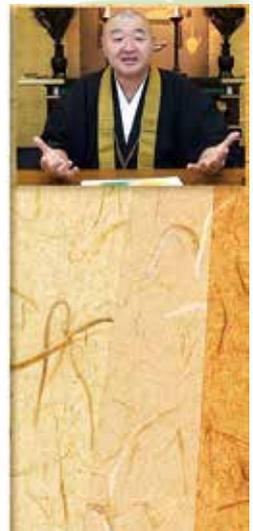
『般若心経秘鍵』

ちなみに、ヴェーダ聖典のことばは、別にmantraともいわれる。これは「思考する」を意味するman-という動詞語根に-traという接尾辞が付いた男性名詞で、「世界を捉えようとする際の根本的な拠り所」を意味する。mantraはそのことば通りにさまざまな事態を含む世界を創造する力を持つものであるから、漢訳語の「真言」は、まさに本質をよく衝いた名訳語である。

RINDAS 伝統思想シリーズ 19  
宮元 啓一『インドにおける唯名論の基本構造』龍谷大学現代インド研究センター、p.3より

祈りと真言: よき在り方を創り、維持することを願って…

10



森崎雅好師の講義映像（第六回）

# 職員研修 手話講座



## ◆金剛峯寺職員を対象に開講



手話講座（第一回）の講義風景

令和四年七月一日、高野町では「高野町手話言語条例」が施行されました。この条例は、手話への理解を広げ、手話が必要とする方が自然に手話を使え

る環境を整えることを目的としています。町全体で手話が一つの「言語」として尊重され、日常の中で気兼ねなく使える社会づくりが進められています。

また、高野山は宗教文化都市として国内外問わず多様な方々が訪れられます。訪問者の中には様々な配慮を必要とされる方もいらっしゃいます。こうした背景から、今年度から金剛峯寺では職員の聴覚障がい者への理解増進を目的として、手話講座を開講することになりました。

講座は全三回開講され、「聴覚障がい者の基礎知識」を学ぶことから始まり、手話での自己紹介や日常生活で使える表現、さらに実際の会話を楽しむ手話の実践まで、多岐にわたる内容が取り入れられました。和やかな雰囲気の中で、職員同士で手話で挨拶や自己紹介を行うなど手話への学びを深めました。

最終回では、手話を使って実際に会

話をする場が設けられ、手話でのコミュニケーションの難しさと同時に楽しさを実感する機会となりました。今回の講座を受講して、「手話を学ぶことで、配慮が必要な方の気持ちに寄り添えるようになった」「手話が必要とされる方が居られたら、積極的に使っていきたい」という感想がありました。

今後も金剛峯寺では、参拝者一人ひとりが安心して訪れていただくことが出来る環境づくりに、ハード面とソフト面の両面において取り組んでいきたいと考えております。



職員同士で手話での会話を練習



開会の挨拶をする藤本善光社会人権局長

# 令和六年度 密教福祉研修会

◆心理士の僧侶が語る、  
心の悩みとの向き合い方とそのケア

令和六年十一月二十二日（金）、高野山大師教会本部中講堂にて、令和六年度密教福祉研修会を開催いたしました。今年度のテーマ「心の悩み、どう向き合う」という内容のもと、十一名が参加されました。

研修会は二部構成で行われ、それぞれの講義では、仏教と心理学の観点から心の悩みやケアの方法に関して貴重な知見が共有されました。

## 「僧侶による相談活動とその実践、 相談活動で得た気づきとこころのケア」

第一部では、真言律宗・長弓寺薬師院住職であり、臨床心理士・公認心理師でもある岡崎良仁師が登壇。カウンセ

セリングの流派や具体的な相談事例を挙げながら、仏教と心理学の共通点を丁寧に語られました。



参加者へ笑顔を決やさず語りかける岡崎良仁師

「心を軽くするためには、自分を苦しめている考え方のクセを手放すことが大切」と述べ、自らの体験を交えながら、悩みを抱える人々にどのような寄り添うべきかを優しく解説され、参加者たちは熱心に聞き入っております。

「ストレスと主体としての意識と尊厳」



仏教の説話や体験談をお話される森崎雅好師

第二部では、高野山大学密教学科教授であり、高野山真言宗の僧侶、また臨床心理士・公認心理師である森崎雅好師が登壇。森崎師は、ストレスとは「圧迫されている状態」であり、どのような時にストレスを感じ、どのように対処すべきかを宗教的視点やスピリチュアルケアの視点から解説。お大師さまの教えを引用しながら、ストレ

スを抱えながらも他者を思いやる慈悲の心の重要性を語られました。その話し方はユーモアにあふれ、参加者たちはストレス状態にある心の負担を軽減する方法を楽しく学ぶことができました。



講義風景

両講義を通して、密教の教えと心理学の両面から、心のケアのあり方が示され、心の悩みにどう向き合うべきかについて、多くの学びを得ることができました。

御宝号念誦運動リーフレット頒布開始のご案内



この度、新たに御宝号念誦運動リーフレットを作成し、頒布を開始いたしました。平和な社会の実現に向け、お大師さまの願いである「済世利人」を共に祈り、御宝号を唱える御宝号念誦運動が一人でも多くの方に広がることを願っております。ご希望の方は、社会課（〇七三六一五六―二〇一三）までご連絡いただき、必要部数をお伝えください。

# 人権研修会

## ウトロ平和祈念館

### ◆ウトロ地区の歴史と現在、平和について考える

十月二十九日（火）に京都府宇治市のウトロ平和祈念館において、令和六年度人権啓発推進員研修会を開催し、十人が参加しました。



ウトロ平和祈念館

ウトロ平和祈念館副館長の金秀煥キムスワアンさんによる講話「ウトロ地区の歴史と平和祈念館」が行われたほか、館内見学と地区のフィールドワークを実施しました。

ウトロ地区では、戦時中の飛行場建設に従事した朝鮮人労働者とその子孫たちが暮らしています。終戦後、飛行場用地は自衛隊駐屯基地の設置や民間企業への払い下げが行われましたが、住民や従事者への対応はなされず放置され、ウトロ地区は日本社会から置き去りにされてしまいました。

上下水道などの生活インフラが整備されず、大雨が降ると深刻な水害に悩まされ続けました。こうした劣悪な住環境から「怖い」「近づいてはいけない」などと疎まれてしまいます。また住民の知らないところで、土地を不動産会



社に売却されてしまい、立ち退きを迫られました。こうした状況でも住民は助け合って生活していました。



平和祈念館内での講話の風景

このようなウトロ地区の問題は、深刻な日本の社会問題、差別問題であると捉えた日本人が支援に立ち上がりました。また韓国社会も支援を開始し、韓国政府の支援金等によりウトロ地区の一部を買い取り、公営住宅の整備や祈念館設計画に繋がりました。

金秀煥さんは、偏見を持たないよう

にするには「ひとを知る」ことが大事だと説明されました。ネットの情報や外交問題等に影響されるのではなく、ひとりひとりが出逢い、つながり、わかり合うことが差別・偏見をなくすことに繋がると仰います。祈念館のキャッチコピー「ウトロに生きる ウトロで出会う」の通り、世代を超えて出逢いの輪を広げて人権・平和の大切さを伝え続ける拠点でありたいと講話を締めくくりました。



参加者へ向けて丁寧に説明する金秀煥さん

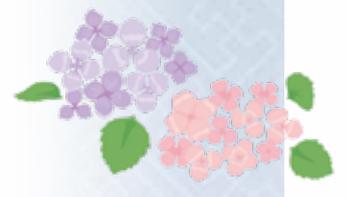
十一月十六日（土）、和歌山県人権啓発センターが主催する「ふれあい人権フェスタ二〇二四」が和歌山県田辺市の紀南文化会館で開催されました。今年も高野山真言宗社会人権局としてブースを出展し、参加しました。



賑わう会場の様子

◆紀南文化会館にてブースを出展

ふれあい人権フェスタ



社会人権局が制作した啓発資料の配布のほか、御宝号念誦運動リーフレットの配布や卓上カレンダーの授与を行いました。また、塗香の作り方を紹介し、配合による香りの違いを体験してもらいました。家族連れなどが多く来場され、会場は大賑わいでした。



塗香の香りや作り方を紹介

御宝号念誦運動とは、心静かに手を合わせ、お大師さまのお徳を表す御宝号『南無大師遍照金剛』をお唱えし、お大師さまと共に、平和な社会の実現に心を向ける信仰運動です。

お大師さまは、「濟世利人（世を濟い人々に利益をもたらす）」を誓いになり、高野山奥之院で永遠に祈り続けてくださっています。私たちもお大師さまと共に、一心に御宝号をお唱えし、全ての人が幸せな生活を送れるよう祈念しましょう。



御宝号念誦運動  
のお願い

### 御宝号念誦運動寄金推移表

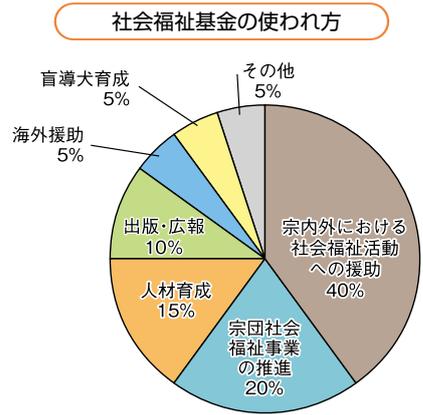


### 福祉基金事業表

皆さまから寄せられた御宝号念誦運動寄金は、高野山真言宗社会福祉基金として様々な福祉活動に役立てられています。

御宝号念誦運動寄金
➔ 高野山真言宗社会福祉基金
➔ 社会福祉事業

<p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">宗団社会福祉事業の推進</p> <p style="font-size: 0.8em;">こころの便り事業（高齢檀信徒支援）</p> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">人材育成</p> <p style="font-size: 0.8em;">高野山心の学び講座の開催 密教福祉研修会の開催 心の相談員ネットワークとの連携</p> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">海外援助</p> <p style="font-size: 0.8em;">ユニセフ協会 など</p>	<p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">宗内外における社会福祉活動への援助</p> <p style="font-size: 0.8em;">寺院および関係機関 ならびに宗外団体への活動助成 盲導犬育成事業 食糧等支援事業 障がい者への支援 ひきこもり対策事業 難病者支援</p> <p style="text-align: center; background-color: #008000; color: white; padding: 2px;">出版・広報 その他</p> <p style="font-size: 0.8em;">ふれあい発行 御宝号念誦運動の啓発 災害復興支援</p>	
--	--	--



ご浄財は、お近くの高野山真言宗の寺院にお持ちいただくか、直接御宝号念誦運動本部へご送金願います。

●ゆうちょ銀行  
振替口座 00940-2-9941  
高野山真言宗御宝号念誦運動本部

●他の金融機関からの振込は  
銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900  
店番：099 預金種目：当座  
店名：〇九九店 口座番号：0009941

〒648-0294 和歌山県伊都郡高野町高野山132 高野山真言宗 社会人権局 社会課  
 電話 /0736-56-2013 FAX/0736-56-2226 E-mail/shakaika@koyasan.or.jp  
 金剛峯寺ホームページ /https://www.koyasan.or.jp 印刷/株式会社ウイング